

公共交通に関するアンケート調査等の結果の共有と今後の公共交通の方向性に関する意見募集の結果について

1 募集の概要

件名	公共交通に関するアンケート調査等の結果の共有と今後の公共交通の方向性に関する意見募集
意見の募集期間	令和4年2月7日（月）～3月8日（火）
意見の受付方法	電子メール、ファックス、郵送、担当窓口へ直接
意見の周知場所	市報とうみ、市ホームページ、市役所本館、北御牧庁舎、総合福祉センター、中央公民館、市民ラウンジ、滋野コミュニティーセンター、祢津公民館、和コミュニティーセンター
結果の公表場所	同上
提出状況	(1) 提出者数 8人 (2) 提出意見数 26件
実施機関	東御市公共交通活性化協議会 (事務局：東御市産業経済部商工観光課商工労政係) 電話：0268-64-5895 ファックス：0268-64-5881 電子メール：syoko-kanko@city.tomi.nagano.jp

意見募集に付した資料は、別添の参考資料 No. 1 のとおりです。

2 ご意見の提出状況と対応区分

区分	内容	提出者数	意見数
A	ご意見の趣旨が既に反映されているもの。	1	1
B	ご意見を反映させるもの（または修正したもの）。	1	2
C	ご意見を反映することはできないが、今後の参考とするもの。	1	2
D	ご意見を反映できないもの。 ・法令等で規定されており、市として実施できないもの。 ・実施主体が市以外のもの。 ・市の方針に合わないもの。など	0	0
E	その他のご意見（質問、感想等）。	8	21
計		11	26

※表中の提出者数は、1人で複数の意見を提出している場合があるため、実際の提出者数（8人）と一致しません。

3 ご意見の内容と活性化協議会の考え方について

番号	意見の区分	意見の内容・要旨	活性化協議会の考え方	反映区分
1	デマンド交通	とうみレッツ号は高齢者の利用率が高いが、車で自由に動くのが難しい学生や妊婦をはじめとした多くの市民が利用できるようにすべきではないか。	移動に不自由している方などにととうみレッツ号を利用していただけるよう、運行形態の見直しや積極的な周知を進めてまいります。	A
2	デマンド交通	AI を活用した交通を導入した場合、高齢者はスマートフォンの利用できる人が少ない。高齢者にスマートフォンの使用講習会を開催されたい。講習会の講師はスマートフォンの販売会社をお願いしたらどうか。	AI を活用したデマンド交通を導入する場合には、多くの方にアプリでの予約を利用してもらえるよう、サポート方法等についても検討いたします。	E
3	デマンド交通	中心部（田中駅）から遠方部へ行く運行時間を 8:30～8:30 にしてほしい。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。	E
4	デマンド交通	遠方部から中心部へ行く運行時間を 17:00～17:30 にしてほしい。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。	E
5	デマンド交通	とうみレッツ号をインターネットで簡単に予約できるようにすることで観光利用も可能ではないかと考える。	観光需要の取り込みについて、AI を活用したデマンド交通の導入による予約等の利便性の向上で対応が可能か検討しております。	E
6	デマンド交通	田中駅、滋野駅、道の駅を発着とする観光客専用のとうみレッツ号を検討してもらいたい。	上記5回答と同様。	E
7	デマンド交通	とうみレッツ号で乗り継ぎなく市内どこへでも行けると良い。また、小諸医療センターのような市外でも利用者がいると思われる場所も検討されたい。	市民の移動実態とニーズに合うような運行形態となるよう検討いたします。 また、市外への運行の可能性についても検討いたします。	E
8	デマンド交通	とうみレッツ号の業務として買い物代行サービスの実施を検討してもらいたい。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。	E

番号	意見の区分	意見の内容・要旨	活性化協議会の考え方	反映区分
9	デマンド交通	アンケート結果から、移動に不自由しているのは高校生が多い。通学時は現在のバスで対応するとして、土日祝日もデマンド交通を運行してはどうか。利用方法の周知は中学校のインターネット関連の授業中で紹介してはどうか。	運行日については、市民の移動実態とニーズを踏まえて検討いたします。利用方法の周知については、ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。	E
10	送迎・通学	通学のための一定のバス需要があることが示されているが、和線における大屋駅、八重原線・御牧原線における田中駅の検討は必須である。特に大屋駅については和地区における意向調査が必須となる。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。意向調査については、必要に応じて実施を検討いたします。	E
11	送迎・通学	利用したい希望者をターゲットに絞った通勤通学用の契約制バスとして運行する方が良いのではないかと考える。 田中駅で電車に乗る人をターゲットに考えているので、電車に乗り換えられる時間に運行したら良いのではないかと考える。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。	E
12	送迎・通学	学生の親の送迎は当たり前になっているが、親にとっては負担だと思ふ。	保護者を対象としたアンケート結果からも、保護者による子どもの送迎は負担になっていることが明らかになっています。できるだけ送迎負担を軽減し、子どもが公共交通を使える環境となるよう運行形態の見直しを進めてまいります。	E

番号	意見の区分	意見の内容・要旨	活性化協議会の考え方	反映区分
13	懇談会等	新型コロナウイルス感染症が落ちついたら、地区懇談会等を開催してほしい。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民の皆様からの意見募集を実施しました。地区懇談会については、今後の状況等を鑑みて開催の要否を検討いたします。	E
14	懇談会等	この問題について協議会の場があれば、呼んでもらえないか。	東御市公共交通活性化協議会は公開で行っており、開催日時は市のホームページ等で案内しています。ご意見を述べたい場合は、今後実施予定のパブリックコメントなどでお寄せください。	E
15	運行費	資金については、安協・社協や日赤のように協力金のような形で市民や企業からいただいてもいいのではないか。	民間企業の協力や広告収入など収益を得る方法を幅広く検討していきます。	E
16	タクシー	タクシーチケットを市民に配布してほしい。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。	E
17	全般的な意見	デマンド交通は土日祝日と夕方以降の時間帯や日にちに運行していない。バス停がない地域も多いので、誰がどのような目的でバスにのりたいのかを把握して、困っている方々を助けてもらいたい。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。	E

番号	意見の区分	意見の内容・要旨	活性化協議会の考え方	反映区分
18	全般的な意見	資料3各地区の「とうみレッツ号を利用しない理由」、「定時定路線バスを利用しない理由」について、「自家用車など他の移動手段の方が便利」の回答が多い。運行方法等の見直しで対応できるか、利用傾向の詳細な分析を提案する。 「自家用車など他の移動手段の方が便利」の内容によっては定時定路線バスでは対応ができないことが予想される。また、とうみレッツ号で容量が不足することの可能性が考えられる。	「自家用車など他の移動手段の方が便利」と考えている人が多く、また、「いずれにしても利用する可能性は低い」と考えている人も多い状況です。 真に公共交通を必要とする人を捉え、その意向をくみ取りながら、運行形態の見直しを進めてまいります。	E
19	全般的な意見	公共交通については既存のシステムの改善からではなく、ゼロベースからの設計が必要ではないか。市職員の出勤、帰宅に関する調査や方法、ルートに関するワークショップは簡便に行えるのではないか。朝、昼、夕の職員の導線から、鉄道駅や市役所を終点とした通勤、家族の通勤通学も含めた公共交通網を想像することを提案する。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。	E
20	資料に対する意見	図表に誤掲載がある。	ご指摘の通り修正いたしました。2月25日に意見募集の資料を差し替えました。	B
21	資料に対する意見	地区の移動状況のデータがコンパクトにまとめられており、グラフや判例が判読できない。	計画作成時には、図表が判読できるように大きさなどに配慮します。	B

番号	意見の区分	意見の内容・要旨	活性化協議会の考え方	反映区分
22	資料に対する意見	資料2「2. 高齢者（独居、高齢者のみ世帯）の移動について（60代以上）」において、5歳階級分析が必要である。総括で示されているのは共通の認識であり、対する案を示してもらいたい。高齢者の将来人口動態を分析したうえで案を示すことを提案する。	アンケートでは、調査対象や回答のしやすさ等を考慮して、10歳ごとの選択肢としています。今後の計画の策定に当たっては、高齢者の階層ごとの意見や高齢人口動態を踏まえて検討を行ってまいります。	C
23	資料に対する意見	資料3各地区の「最も頻度が高い日常の外出手段」について、5歳階級分析を行うことで、市民の将来人口動態を分析することを提案する。	上記22回答と同様。	C
24	資料に対する意見	アンケート票が添付されていないため、理解を妨げる。	今後、アンケート結果を公表する際に、質問内容や選択肢が分かるように配慮いたします。	E
25	資料に対する意見	図表に附番をつけてもらいたい。図表の特定ができなければ論点を指摘できない。	今後、計画書のとりまとめやパブリックコメントを実施する際に配慮いたします。	E
26	資料に対する意見	アンケート結果における合計及びn（データ個数合計）の表示をしてほしい。	今後、アンケート結果を公表する際に配慮いたします。	E